

今号の写真:只見小学校(畑の学校ほ場)

子ども達の好奇心はとどまることなく湧いてきます。農作業・動植物の観察などを通して、土・水・動植物に触れ、子供たちが感じ取ることは、きっと将来の糧になるのではないのでしょうか。

《目次》

- トピックス
  - ・「畑の学校」今年も開校！
  - ・第61回南会津地方植樹祭開催
  - ・おいしいふくしまいただきます！春キャンペーン開催！
  - ・南会津から復興木材を！
  - ・新たなもりの案内人誕生！
  - ・地域産業6次化への支援について
- コラム
  - ・野生獣害対策の肝は集落力にあり
  - ・知っておきたい食品の表示①～生鮮食品 野菜・果物編～
- 農林事務所からのお知らせ
  - ・農産物加工研修のお知らせ
  - ・こしあぶら出荷自粛のお願い

平成25年6月20日発行 福島県南会津農林事務所



# 南会津 のうりんニュース

## トピックス

### 「畑の学校」今年も開校！

只見町立只見小学校では「畑の学校」が今年も元気に開校しました。

「ふくしまの農育」推進事業の一環として、農作業などの体験型学習を通じ、児童に食物や農作業の大切さについて理解を深めてもらうことを目的に、平成24年度から3か年の予定で実施しています。

5月30日はあいにくの雨のため、屋内で開校式のみとなりましたが、やる気満々の児童たちの熱意に雨雲も吹き飛び、翌日は絶好の農作業日和。

1年生から4年生までの児童36名と保護者、教員、農林事務所の職員からなる「畑の応援団」が作業に参加しました。

足元は長ぐつ、首にはタオルのいでたちで畝たて作業からスタートし、トマト、ゴーヤ、ズッキーニなどの夏野菜をはじめ、約500㎡の畑には、学年毎に所狭しと苗や種がまかれ、約1時間半かけて何とか作業を終了しました。

「これって何の苗？」「サヤエンドウの種ってこんな形しているの？」普段食べては



真剣なまなざしで作業に取り組みます

いるけれど、苗や種をこれまで意識したことが少ないせいか、こうした会話も聞かれました。すでに学習は始まっています。

また、初めて握る鍬に奮闘したり、トマトのわき芽を慎重に摘み取るなど、貴重な体験もできました。

今後、草取りや水やりなどの栽培管理を続けるとともに、生き物調査による地域環境への理解促進等も予定しており、豊かな感性と深い見識を持った子供たちの育成に向けた一助となるよう、本年度の「畑の学校」はこれからが本番です。(農村整備部)

### 第61回南会津地方植樹祭開催

5月29日(水)、下郷町の「クラインガルテン下郷」において、南会津地方緑化推進委員会などの主催による「第61回南会津地方植樹祭」が開催され、田島第二小学校緑の少年団など約100名が参加しました。

朝からの雨もやみ、緑輝く中で行われた式典では、長年にわたり地域緑化活動に取り組んでいる下郷町倉水区が緑化功



子ども達の手で丁寧に植栽しました

労者として表彰されるとともに、毎年南会津地方緑化推進委員会に寄付をしている株式会社高島屋へ感謝状が贈呈されました。

式典の後、参加者全員でオオヤマザクラの

苗木約60本を植栽しました。

参加者一人ひとりの手によって植えられた苗木は、やがて大きく育ち花を咲かせ、地域の美しい緑を創出してくれることでしょう。

なお、植樹祭には「緑の募金」や県の補助金が活用されています。（森林林業部）

## おいしい ふくしま いただきます！ 春キャンペーン開催！

福島県産農林水産物への風評被害の払拭と旬の春野菜の消費拡大を目的として、おいしいふくしま いただきます！春キャンペーンを開催しました。



八重たん・キビタンが応援に来てくれました

キャンペーンは、5月26日に、道の駅たじま様、JA会津みなみ様に協力いただき、南会津地方の特産物である「会津田島アスパラガス」をPRしました。

「会津田島アスパラガス」は、南会津地方の昼夜の寒暖差のある環境で育てられ、香り高く、甘みの凝縮された味わいが特徴です。

また、南会津地方では、グリーン・パープル・ホワイトの3色揃っての生産やエコファーマーの認定を受けるなどの全国的に見ても先進的な取り組みを行っています。

当日は、県産農林水産物のモニタリング情報サイト「ふくしま 新発売。」、会津田島アスパラガスのリーフレットの配布や、焼いたアスパラガスの試食提供を行いました。

試食したお客様からは、「南会津産のアスパラガスの甘み、柔らかさに驚いた。是非購入したい。」とのお声をいただきました。



お客様に「会津田島アスパラガス」の魅力を回答いただきました

また、抽選なども実施し、旬

の会津田島アスパラガスや、アスパラガスソフトクリーム等をプレゼントしました。

さらに、当日は、NHKの大河ドラマ「八重の桜」からマスコットキャラクターの「八重たん」と、県復興シンボルキャラクターの「キビタン」がキャンペーンの応援に駆けつけ、キャンペーンを盛り上げてくれました。

これからの季節は、トマトやナス、きゅうりなどの夏野菜が旬を迎えます。旬の夏野菜で暑い夏を乗り切りましょう！（企画部）

## 南会津から復興木材を！

復興支援「南会津産木材市」が5月23日から6月6日の期間において行われました。

平成23年度から実施している木材市も今回で5回目を迎え、南会津町の協力により、だいくらスキー場駐車場を土場として、スギ・カラマツ・広葉樹が目標600m<sup>3</sup>に対し692m<sup>3</sup>出材されました。

これらの木材は、県内外での震災用復興住宅・一般木造住宅への利用が期待されます。

主催は、南会津地方木材安定供給連絡会で、南会津郡内の森林組合や素材生産業者等が構成員となっており、地域材の安定供給と利用促進を目的に木材市場の開設や研修会の開催等の取り組みを行っています。

今後は、今回の出品材を参考に造材技術研修会の開催や秋には第6回目の市の開催なども計画されています。

元気な南会津地域の森林・林業をPRしたいと考えておりますので、お近くにお越しの際には是非ご覧ください。（森林林業部）



復興支援に向けて、目標以上の出材がありました

## 新たなもりの案内人誕生！

3月24日に開催された「平成24年度福島県もりの案内人認定書交付式」において県全体で20名、南会津地方では5名が新たにもりの案内人となりました。

もりの案内人は、森林の役割や重要性を県民に広く伝える指導者として平成9年度より県が養成しております。平成23年度には「NPO法人ふくしま・もりの案内人の会」の南会津

支部が設立されており、案内人の方々のなお一層の活躍が期待されます。

### <平成24年度認定者>(50音順)

小椋 勝美さん、齋藤 久武さん、芳賀 健友さん、  
星 学さん、星 義道さん

(森林林業部)



平成24年度福島県もりの案内人認定書交付式

新たなもりの案内人の方々の活躍が期待されます

## 地域産業6次化への支援について

日に日に暑さが増してくるこれからの季節、市場には多様な葉物野菜やトマトなど地元の生鮮品があふれる時期です。

また、これまでも南会津のうりんニュースで何度か取り上げてきた夏から秋にかけての食用ほおずき、高冷地での栽培に適した花豆、伝統食材のエゴマなど南会津ならではの特産品の生育が盛んになる時期でもあります。

これらの特産品については、一昨年、昨年の年度末に開催している南会津地方の6次化商品求評会においてメインの食材として取り上げるなど、加工品や料理の開発を農林事務所としても支援しており、生果だけでなくスイーツやジャム、調味料など多彩な加工品が道の駅や直売所の店頭で並ぶといった成果を上げています。

農林事務所では、地域産業6次化の推進のためこれらの作物の加工だけでなく、地域の食を活かした集落の活性化や観光による地域づくりなども幅広く6次産業化の対



アドバイザーから商品改良のヒントをいただきました(6次化商品求評会)



食用ほおずきを活用したメニューが紹介されました(6次化商品求評会)

象とし、農林水産物全般の加工・販売をはじめとした1次産業と他産業の連携、農林漁業者の異業種への進出などを支援しています。

支援の形も6次化の手始めに関する相談、6次化関係事業者で作るネットワークの紹介、研修会の開催、専門家等の助言による商品改良支援、求評会の開催、6次化に係るソフトとハード両面の補助事業紹介など多岐に渡ります。

農産物の生産が忙しい季節ですが、6次産業化に関して興味のある方は、ぜひ農林事務所にて御相談ください。(企画部)

## コラム

### 野生獣害対策の肝は集落力にあり



野生獣による農産物被害は年々増加傾向にあります。

その原因として、山の餌の減少、温暖化による生育域拡大や個体数増加、狩猟者の減少などが言われています。これらは間違いではありません。が、正解でもありません。

根本的な原因は、獣が「集落」を「餌場」と認識していることにあります。

集落にある「餌」は農作物だけではりません。作物残さ、生ゴミ、雑草、収穫しない果実、堆肥中のカブトムシやミミズなど、非常に多岐に渡ります。

まずはこうした餌を減らしたり囲ったりすることを、できることから始めて下さい。そして獣は必ず山に追い返し、農地や集落では食事をさせないようにしましょう。

また農地周辺に藪などがあると、獣の行動が大胆になり、どんな対策も効果が出にくくなります。

農地周辺は常に見通し良く保ちましょう。場合によっては、農地の内側に空間をとることも考えましょう。

なお獣害対策は、集落全体で取り組むことで効果が増幅されます。例えばロケット花火によるサル追いも、複数人数で行えば、サルは安全な逃走経路をパターン化できなくなり、結果として現れる回数も減ってきます。

捕獲等の対策も重要ですが、その前に「集落力」を駆使して、あなたの集落を獣にとって魅力的でない場所にしていきましょう。

(農業振興普及部)



## 知っておきたい食品の表示①

～生鮮食品 野菜・果物編～



今号から食品表示に関するコラムを連載することとしました。

この連載をとおして食品表示について、学んでいただき、適切な表示を行ってください。

今回は、生鮮食品（野菜・果物編）です。

### 1 表示内容

「名称」「原産地」の表示が義務付けられています。

なお、生しいたけは、栽培方法も記載します。原木栽培は「原木」、菌床栽培は「菌床」と記載します。（例）

名称	しいたけ(菌床)
原産地	〇〇町

⑥乾燥しいたけは、加工品に分類されます。

### 2 原産地表示の仕方

●国内産・・・都道府県名

都道府県名に代えて、市町村名やその他一般に知られている地名（旧国名など）を記載することができます。

●輸入品・・・原産国名

外国であれば、州名や省名を記載することができます。

### 3 表示の方法

表示は、袋にする以外に、イラストのように立札などポップでもかまいません。

また、仕入箱などに正しい原産地の表示があればそのまま利用できます。



次回は、食品表示②  
- 生鮮食品 玄米及び精米編 -

段ボール箱に記載した例



(企画部)

お問い合わせはこちら

福島県南会津農林事務所 企画部 地域農林企画課  
 〒967-0004 福島県南会津郡南会津町田島字根小屋甲4277-1  
 ホームページ <http://www.pref.fukushima.jp/norin-minamiaidu/>  
 電話 0241-62-5252 FAX 0241-62-5256

## 農林事務所からのお知らせ

### 農産物加工研修のお知らせ

福島県農業短期大学校では農作業や経営に役立つ様々な研修を開催しています。最近では、農産物加工に関する研修が人気であり、御好評をいただいております。

内容について詳しく知りたい方や参加御希望の方は問合せ先に御連絡ください。

なお、研修は定員になり次第締め切りとなりますので、早めの申込みをお願いします。

#### <研修内容>

##### ○加工初心者基礎研修

・農産物加工活動の基礎 12月4日

##### ○素材活用研修

・夏野菜を使った加工 8月7日

##### ○保存技術研修

・惣菜の保存 7月17日または31日

・果物の保存 8月21日

・漬物の保存 11月6日

##### ○商品化研修

・商品のPR 9月4日

・一歩踏み出す商品づくり 9月18日

#### 《問合せ先》

福島県農業短期大学校(電話0248-42-4114)

福島県南会津農林事務所(電話0241-62-5264)

(農業振興普及部)

### こしあぶら出荷自粛のお願い

平成25年6月20日現在、下郷町と南会津町で採取される「こしあぶら」について、国が定める基準値を超えたため出荷自粛の指示が、国から出されています。

両町で採取される「こしあぶら」については、出荷の自粛をお願いします。

なお、解除の指示が国から出されるまでは、来年度以降も出荷自粛の指示が継続しますので、御注意ください。（企画部・森林林業部）



ふくしまからはじめよう。

Future From Fukushima.

みなさんのご意見・ご感想をお寄せください。